

ソニー生命カップ 第46回全国レディーステニス大会 全国決勝大会

日時：2024年11月12日(火)～14日(木) 会場：東京都有明テニスの森公園コート

1 R vs兵庫 2 - 1

No.1 2 - 0 (61 63)

No.2 0 - 2 (06 06)

No.3 2 - 1 (57 64 10-8)

2 R vs秋田 3 - 0

No.1 2 - 0 (60 61)

No.2 2 - 0 (63 63)

No.3 2 - 0 (60 64)

3 R vs愛知 0 - 3

No.1 0 - 2 (26 26)

No.2 0 - 2 (36 26)

No.3 0 - 2 (36 26)



ベスト16

去年から1年かけて、全国の舞台で戦うため、勝つために、必死でチームのメンバーと共に頑張ってきました。初戦から厳しい試合でしたが、チームで掴んだ勝利は本当に嬉しく、力になりました。去年の結果を超えられなかった悔しさと、2回の経験を強さに変え、再び練習に励んでいきます。応援してくれた方々、ほのかちゃん、チームのメンバー、監督、コーチ本当にありがとうございます。宮城初優勝の夢、諦めません！

No.1 佐藤あさ美

宮城県の代表になれた時、全国への挑戦権を得た！とワクワクしながらスタート地点に立った気持ちでした。しかし、試合が終わり、全国の強さと自身の弱さを実感し、全国の舞台を知ったことで、ようやくスタート地点に立てた気持ちです。今後は足らなかった心技体、強くなれるよう努力してまいります。この数年は上手くいかないことも多く、浮き沈みが激しかったです。どんな時も叱咤激励し支えてくれたコーチ、仲間には感謝しかありません！ペアのちーちゃん、竹ヶ原監督、コーチ、チームのみんな、女子連の役員の皆様、ありがとうございました！

No.2 足立温子

何とか手に入れることができた、全国の切符。またもや愛知を目の前に、No.1に望みを繋げられず、力を出し切れない悔しい結果となりました。改めて、他県との明確な違いをしっかりと受け止め、またチャレンジできる機会を掴むことができたなら、その時は必ず最終日に残りたいと思います!! 役員の皆様、応援にかけつけてくれた友人、送り出してくれた家族に感謝申し上げます。また、監督、コーチ、チームメイト、そしてペアを組んでくれたりえちゃん、夢中になってこの期間取り組むことができた最高の環境と時間をありがとうございました。

No.3 鍋木恭子

昨年全国決勝大会で負けてから、またこの舞台で戦い勝ち抜けるようにという思いで練習してきました。去年は緊張で頭が真っ白になっており、景色もプレーもよく覚えていなかったのですが、今年は落ち着いて会場入りすることができました。試合でも練習してきたことはできたのですが、他県に比べるとまだまだ精度や1番は粘りといった部分が劣っていたと感じました。この悔しさを胸にまた練習を重ねていきたいと思います。ペアのあさ美さん、チームのメンバー、監督、指導して下さったコーチ、全国決勝大会前に温かい声で送り出してくださった皆様、会場まで駆けつけてくれた母、遠くから応援してくれた家族、本当に皆様のおかげでこの舞台に立って試合をすることができました。本当にありがとうございました。

No.1 上田穂乃佳

初めての参加で緊張もしたし、上手くいかない事もたくさんありましたが、全国の場に立てたことでたくさんの収穫がありました！当日はもちろん練習からその他含め、心強い仲間と監督に支えられてもらったなど、皆さんに感謝しかありません。更なるレベルアップ目指して、また挑戦したいです！

No.2 大竹千紘

初の全レは独特な雰囲気にも飲まれ自分らしいプレーができず悔しい3日間でした。それでも、私が良いプレーをするその時までずっと辛抱してくれた恭子ちゃん、励ましてくれたコーチ、信じてくれた竹ヶ原監督、盛り上げてくれた仲間には感謝の気持ちでいっぱいです。全国との差を嫌というほど痛感したけれど、2勝できたことを自信に変えて、もう一度頑張ってみようと思います！宮城県の皆さんにはずっと温かい声をかけていただいととても嬉しかったし、心強かったです。本当にありがとうございました。宮城県はまだまだ上にいきます！来年こそは絶対卒業です。

No.3 立川利恵

今年のベスト16は悔しさが残るベスト16でした。あの独特の雰囲気の中で勝ち切る事の難しさを痛感しています。選手達には来年もまたあの場所に立ってリベンジして欲しいです。お疲れ様でした。最後に審判に注意されながらも応援してくださいました皆様ありがとうございました。(笑) 来年へ続く・・・

監督 竹ヶ原 靖子